

道連ニュース

2026年6月号 No.234

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

2025年度 第5回理事会報告

5月12日(火)ホテルポールスター札幌にて小松理事(さっぽろ高齢者福祉生協)を議長に選出し、開催致しました。冒頭、中島会長の開会挨拶ののち、以下の事項について提案があり承認されました。

【議決事項】

1. 日本生協連総会代議員の件
2. 2026年度各種会費拠出・役員派遣(案)について
3. 道生協連役員補充選任の追加及び対応の件
4. 第1号議案 2025年度活動報告承認の件
5. 第2号議案 2025年度事業報告書及び決算関係書類の承認の件
6. 第3号議案 2026年度活動計画及び予算決定の件
7. 第4号議案 会費規約一部改定の件
8. 第5号議案 監事監査規則一部改定の件(特定監事提案)
9. 第6号議案 役員報酬決定の件
10. 第7号議案 役員補充選任の件
11. 2月25・26日道庁検査への対応の件

【審議事項】

1. こども食堂北海道ネットワークの2026年度活動計画の件
2. ほっかいどう若者応援★学生PJの2026年度計画の件
3. 協同組ネット北海道の2025年度まとめと2026年度計画の件
4. 暮らしと平和の課題に関する取り組みについて
5. 70周年記念事業の推移

【報告事項】

1. 第70回総会に向けて
2. 一般活動報告
3. 2025年度第4回理事会議事録
4. 2025年度決算報告 ※総会議案書(案)参照
5. 2026年度4月決算の件
6. 2025年度第2回監事会報告(議事録及び監査報告)
7. NPO Kacotam への寄付の件
8. ひとり親家庭の春休み応援パッケージへの支援依頼について
9. 北海道からの通知及び友好団体・協賛・後援の件
10. 日本生協連北海道・東北地連報告

お知らせ

北海道庁所管部の人事異動

環境生活部 暮らし安全局 消費生活課 消費生活係 生協担当

(敬称略) 2026.4.1現在

環境生活部 暮らし安全局 消費生活課 消費者安全係	〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目	TEL 011-204-5212	FAX 011-232-3640
担当副知事	加納 孝之	消費生活課長	鏡 法裕
環境生活部長	天野 紀幸	消費生活課課長補佐	溝口 敬広
環境生活部次長	新井田 順也	消費生活係長	吉木 秀行
暮らし安全局長	高木 順一	消費者安全係専門主任(生協窓口)	山中 佳代

第1弾
企画

「未来へつなぐ青い海と資源！なるほど発見！」 エコ体験バスツアーを実施しました。



企画趣旨

近年、地球温暖化や海洋プラスチック問題など、環境問題は私たちの暮らしに大きな影響を与えています。未来を担う子どもたちに、美しい自然環境を引き継ぐためには、環境問題について親子で一緒に考え、行動することが重要です。

この企画は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みの一環として、親子で楽しみながら「食」や「環境」について体験的に学ぶことを目的としています。第1弾は海岸での清掃活動とリサイクル工場の見学を通して、子供うちから環境保全への意識を高め、具体的な行動につなげるきっかけを提供します。

日 時：2026年5月16日(土)

行 先：厚田海岸(石狩市)：コープさっぽろエコセンター(江別市)

参加者：大人17名 子供20名 学生10名 事務局7名 計54名

※事務局：北海道生協連、(株)FUJI

運営協力：ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト

このイベントは、親子で楽しみながら「食」や「環境」について体験的に学ぶことを目的に、北海道生活協同組合連合会などの主催で行われたものです。当日は多くの親子が石狩市・厚田海岸での清掃や江別市・コープさっぽろエコセンターの視察に参加しました。今回、協力団体である私たち「ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト」のメンバー10名がサポーターとして初参加し、活動を通じて感じた環境への気づきと、今後の決意をレポートしました。

□ 海岸清掃で実感した、小さなゴミが潜む大きな脅威

最初の活動である厚田海岸のゴミ拾いで、私達は「海にはペットボトルや缶、発泡スチロールなどの大きなゴミが多い」というイメージを覆されました。実際に足元を見ると、目についたのは細かなプラスチックの破片や網の切れ端ばかりでした。非常に拾いづらく、こうした微細なゴミを魚が飲み込み、最終的に私たち人間にまで悪影響が及ぶという環境問題を肌で実感できました。

一方で、子どもたちが「こんなゴミがあったよ!」「あっちにいっぱいあるよ!」と元気に声を掛け合い、私たち学生自身も楽しくコミュニケーションを取りながら夢中でゴミ拾いができたことは、とても新鮮な経験となりました。



□ リサイクルの工夫と、自然と触れ合う「コープの森」

午後からのコープさっぽろエコセンターの視察では、資源リサイクルの仕組みを学びました。特に印象的だったのは段ボールのリサイクルです。異物が挟まっていないかを確かめるため、少しずつ機械に投入して一つの大きな塊にする工夫など、徹底された現場に驚きの連続でした。また、「コープの森づくり」の活動では、子どもたちと葉の写真を見比べながら「これはどの木の葉っぱかな?」と森の中を探索。大人も子どもも、参加者全員が笑顔で自然と触れ合いながら楽しく学べる機会の素晴らしさを実感しました。

□ 身近な足元から行動を。未来へつなぐ学生としての決意

バスツアーを通じ、環境問題は日常と地続きであることを痛感しました。

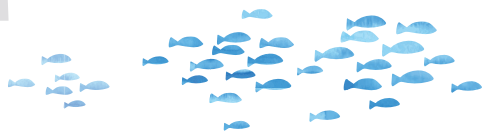
「今後は、まず私自身が日々の生活の中でゴミの分別やプラスチックの削減を意識し、身近な足元から行動を変えていきます。そして、プロジェクトの活動を通じて、今回得た気づきをより多くの若い世代の仲間に発信していきたいです」

これからも未来を担う子どもたちに環境を守る大切さを伝えていけるよう、地域活動のサポートに積極的に挑戦し、人と自然をつなぐ架け橋を目指します。





「海のクリーンアップ大作戦 Vol.6」



 望来海岸 共同開催

「Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦 Vol.6」が、5月13日(水)と16日(土)の2日間にわたり開催されています。その中で5月13日(水)には、コープさっぽろと協同組合ネット北海道の共同呼びかけにより、石狩市の望来海岸にて清掃活動を実施いたしました。



協同組合ネット北海道事務局メンバー

● 多くのご協力により、無事に清掃活動が完了

当日は心配された天候も最後まで持ちこたえ、無事に活動を終えることができました。開会にあたっては、コープさっぽろ 鈴木常務理事より開会挨拶、また共同開催挨拶として協同組合ネット北海道を代表し北海道報徳社の石田様よりご挨拶を頂戴いたしました。



協同組合ネット北海道の各構成組織の皆様をはじめ、今年も多くの方々に清掃活動へ取り組んでいただき、関係者を含め総勢239名が参加いたしました。参加者の皆様の熱心な活動により、45リットルのゴミ袋で74袋分ものゴミを回収することができました。ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。



● 海を守る活動を、これからも共に

美しい北海道の海を守り、未来へ繋いでいくために、「海のクリーンアップ大作戦」は今後も継続して開催してまいります。一人でも多くの方にご参加いただき、この活動の輪をさらに広げていきたいと考えておりますので、引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

